

12月

はつらつ 尾久っ子!



全校

みんなで跳ぼう!! 大なわ集会!

2学期は、全校で「大なわ」に取り組んできました。題して「大なわマラソン」です。これは、学級ごとに休み時間に、大なわで跳んだ回数を、配布されたカードのマスにぬって行く活動です。どの学級も、多くの回数を跳ぶことに一生懸命取り組んでいました。

一年生は始め「おおなみ・こなみ」で跳んでいたのですが、先日21日に行った集会の時には、なわを上に戻して跳ぶことができました。毎日、楽しく友達と遊びながら取り組んできた証だと思えます。また、2, 3, 4年生は、なわを速く回して跳ぶことができていました。そして、5, 6年生はなるべく前の人との間をつめて待ったり、引っかからないように体を丸めて跳んだり、一人一人が工夫して跳んでいました。学年に応じた工夫はすばらしいです。

「運動の秋」は大なわに取り組み、学級の輪も深めています。合計一万回跳ぶことを目指して、各学級の挑戦は続きます。



1年

秋の「おもちゃランド」大成功☆

10月から生活科では、秋の学習を始め、自分たちで拾い集めた材料を使って秋のおもちゃ作りをしました。個人で作り→グループで作る→お客さんを呼んで遊んでもらい→と、どんどん学習が広がっていききました。

11月21日(水)には、1年生がお互いのクラスで作ったおもちゃを持ち寄って「おもちゃランド」を開きました。幼稚園の年中・年長さんも遊びに来てくれることになり、1年生の子供たちは幼稚園生にどのようにルールを伝えられるだろうと、一生懸命考えていました。「おもちゃランド」が始まると、あちらこちらから「いらっしやいませ」の声が聞こえ楽しい活動ができました。

秋の葉や木の実をたくさん使ってできたおもちゃたちは、どれも子供たちのアイディアと想いが上手に表現されていました。



2年

好評だった学年発表会(土曜授業日)



生活科で学んできた「おいしくそだてわたしのやさい」と「まちたんけん」について発表しました。「野菜作り」では、ふだん店で買っている野菜が、学校の花壇(畑)でもできるものなんだと、あらためて感じながら、一所懸命世話をし続けてた児童の感想が印象的でした。

「町探検」では、「知っていそうで知らない尾久の町」を合い言葉に、町の中にあるものに改めて目を向けてみました。店や公園だけでなく、彫刻、不思議な建物、井戸などを見つけたり、公園でくつろいでいる人たちと話す機会をもったりしました。

その後も、店に行ったらはその店の人から「こんな事を聞いてきたよ～」など探検は続いています。

3年

東武ストアーに見学に行ってきました。

3年生は、11月19日に東武ストアーに行ってきました。クラスごとに見学しましたが、普段見ることができない店の裏側にある食肉を加工する場所や魚の大きな冷凍庫を見学して子どもたちは驚いていました。また、店長さんのお話を聞き、色を考えた商品の並べ方や従業員の数、一日のお客さんの数など様々なスーパーマーケットのお店の様子について学習することができました。

～子どもたちの感想～

- ・値段はバイヤーさんが決めていることを知りました。
- ・一日で2500個の品物が売れることが分かりました。
- ・まぐろとサーモンがよく売れるが分かりました。



4年

「自転車の安全な乗り方を学びました！」

4年生は、尾久警察の方に来ていただき、「自転車安全教室」を実施しました。各クラスに分かれて、自転車の乗り方についてテストや実技の試験を受けながら、警察の方に、自転車の乗り方や交通ルールについて教えてもらいました。最後に行われた試験にも全員無事に合格することができました。

今後は一人で自転車に乗ることができそうですが、今回の体験を生かし、交通ルールをきちんと守り、安全運転に心がけ無事故で過ごして欲しいと思います。



5年

体験学習～番組づくり!～

11月22日(金)に、NHK スタジオパークへ行き、体験学習をしました。各クラスに分かれて尾久六小を紹介する番組づくりにチャレンジしました。

子どもたちは、誰もが知っている番組を手がけているプロの方々に教わりながら、キャスターやリポーター、ディレクター、カメラマンになって番組を制作しました。始めは緊張した表情だった子どもたちでしたが、本番ではいきいきとした表情で尾久六小の魅力を伝えていました。

今回の体験を通して、情報を伝える工夫や苦勞、責任を感じることができました。制作した番組がどんな仕上がりにしているのか、楽しみです。



6年

西尾久ふれあい館のみなさん、ありがとうございました!

6年生の社会科では、「わたしたちの願いを実現する政治」の学習をしています。自分たちの生活と政治がどのようにつながっているのかを肌で感じるができるよう、地域の公共施設について学んでいます。

先日は西尾久ふれあい館にうかがい、館長さんや主任さん、職員の皆さんから、「利用する方々の願いや意見にはどのようなものがあるか、その願いを実現するためにどのような工夫や努力をしているか」などについてお話をいただきました。

子供たちは、身近な公共施設が多様な活動をしていることに驚きながらも、親しみを感じているようでした。将来、子供たちが世の中の仕組みに関心を持ち、主体的に社会に参画できる土台になるよう願っています。

